

日本文学



夜露姫

みなと堇／著
講談社（2016年）

時は平安。中納言家の姫は、求婚相手を撃退したことから恨みを買って、家は没落、父も亡くなってしまふ。ひよんなことから義賊の仲間になると、父の仇を取るために、盗まれた帝からの預かりの笛の行方を探し始めるが…。

うたうとは小さいのち ひろいあげ

村上しいこ／著
講談社（2015年）

「友だちはつくらない。」高1の桃子は中学でのいじめが原因で不登校になった綾美に負い目があったのだ。だが、思いがけず入った「うた部」で先輩達と言葉の命に向き合う日々、頑なな心もほぐれていって…。

※ 2017年5月現在、シリーズ2巻まで刊行。

